

iMarkV5 へのメジャーバージョンアップを伴う移行手順ガイド

NetKids iMarkV5 より 64bit アプリケーションとなりました事、また仕様の変更により下記のご注意点がありません。

■64bit アプリケーション化に伴う変更

- iMarkV5 よりデフォルトのインストールフォルダが下記のパスに変更となりました。

※V5 インストールフォルダ→ "C:¥Program Files¥NetKids¥iMarkV5"

その為、下記設定をご利用されており、ログファイルの出力先や、プログラム実行通知等に使用する外部プログラム、

外部アプリケーションの指定先を旧インストールフォルダまたはその配下のフォルダを經由している場合パスの変更が必要となります。

- ・全体ログ(iMarkGUI メニューバー→設定→オプション設定→「ログ」タブより設定できる、監視全体のログ)
- ・個別ログ(各監視毎のターゲットの設定→「その他」タブより設定できる、監視毎の個別ログ)
- ・「プログラム実行」通知
- ・「サウンド再生」通知
- ・「プログラム実行」通知または「サウンド再生」通知が含まれる通知テンプレート

上記のうち全体ログ、通知テンプレートは設定移行後に iMarkV5GUI の下記箇所から変更をお願いいたします。

- ・全体ログ・・・iMarkV5GUI のメニューバー→設定→オプション設定→「ログ関連」タブ箇所
- ・通知テンプレート・・・iMarkV5GUI のメニューバー→設定→通知テンプレートの設定

個別ログ、「プログラム実行」通知、「サウンド再生」通知の設定は、各監視毎の下記箇所から変更をお願いいたします。

- ・個別ログ・・・該当監視のターゲットの設定→「その他」タブ箇所
- ・「プログラム実行」通知、「サウンド再生」・・・該当監視のターゲットの設定→「通知方法」タブ箇所

個別ログ、「プログラム実行」通知、「サウンド再生」通知を設定している監視設定が多数ある場合、iMarkV5 より追加されました「グループターゲット設定」機能、またはターゲット設定ツール(iMarkTool.exe)にて一括で変更する事が可能です。

- iMarkV5 より使用する外部プログラムや外部アプリケーションは 64bit 版をご使用ください。

iMarkV4 以前は 32bit アプリケーションだった為、外部プログラムなども 32bit 版を使用する必要がありましたが、

iMarkV5 より外部プログラムは 64bit 版を使用する必要があります。32bit 版の外部プログラムを使用した場合、正常に動作しない可能性があります。

■仕様変更に伴う、一部設定引継ぎの変更

- nkimark.noi(エージェント監視の項目表示の有無を変更できるファイル)

→同設定に関するファイルは iMarkV5 では「nkimark_v5.noi」という名称となっており、ファイル内のフォーマットや項目情報などの仕様が変更されております。

その為、「nkimark.noi」ファイルを移行していただいても設定内容が反映されません。
V4 以前の「nkimark.noi」と V5 の「nkimark_v5.noi」を比較していただき、
同監視項目の行頭にあります「;」(セミコロン)を「nkimark.noi」に合わせて編集をお願いいたします。
※「nkimark.noi」の変更をされていない場合は「nkimark_v5.noi」を編集していただく必要はありません。
また iMarkV5 より削除された監視項目につきましては移行することはできません。

「nkimark.noi」及び、V4 のエージェント監視でデフォルト表示されていない監視項目につきましては、
iMarkV4 ユーザーガイドの「8.3 iMark エージェント取得情報の詳細」をご参照ください。

●ユーザ定義 DLL

→互換性の問題により、iMarkV4 以前のユーザ定義 DLL を使用する事ができなくなりました。
同監視を行う際は iMarkV5 の監視仕様に合わせて作成し直しが必要となります。

●ターゲット設定ファイルの iMarkV5 より削除された監視設定

→移行自体は可能ですが、設定移行後、該当の監視は停止されます。

設定の移行手順、及び移行対象ファイルは下記をご参照ください。

この作業の前にバックアップとして次のファイルを保存、バックアップしてください。

アップデート後監視を継続状態にさせたくない場合はアンインストール前に全監視の停止、

及びオプション「起動時にすべてのチェックを有効にする」を無効にしてください

※上記オプションは iMarkGUI のメニューバー→設定→オプション設定→「その他」タブより設定が可能です。

またこれらの作業をターゲット設定ツール(iMarkTool.exe)を使用して行った際、iMarkGUI にて別途設定が必要になる場合があります。

詳細につきましては iMarkV5 ユーザーガイド「2.6.11 NetKids iMark 設定ツール V1 を使用した移行方法について」をご参照いただくか

アイ・エス・ティ サポート担当までお問い合わせください。

-----バックアップ対象ファイル-----

(ターゲット設定ファイル、ログなど保存場所を変更して無い場合は、全てインストールフォルダ内にあります。)

- ・ ターゲット設定ファイル
- ・ nkimark.ini
- ・ holidays.ini(休日定義を使用している場合)
- ・ nkimark.noi
- ・ nkmsg.ini
- ・ 「report_templ」フォルダ (通知テンプレートを使用している場合)
- ・ 「mail」フォルダ
- ・ oid ファイル (MIB ファイルを追加している場合)
- ・ Perfmib.dat(MIB ファイルを追加している場合)
- ・ ログファイル (ログを残す設定の場合)

注意：プログラム実行通知などで外部のプログラムやデータファイルなどを指定している場合はそれらもコピー対象となります。

監視設定の確認と、関連する外部ファイルの確認を行ってください。

○既存の iMark を V5 にアップデートする場合

(1)旧 iMark を終了し、上記ファイルのバックアップを取得

(2)旧 iMark のアンインストールを行う

(3)バージョンアップする iMarkV5 をインストール

(4)iMark を「管理者として実行」より起動しライセンスコードを入力する

(5)iMarkGUI を終了し、iMark サービス(nkimarkService_V5.exe)を終了させる

(iMark サービスの終了はタスクマネージャー→「サービス」タブ→「nkimarkService_V5」を右クリック→「停止」を選択してください)

(6)バックアップ対象ファイルを iMarkV5 インストールフォルダにコピー

※以下のバックアップ対象ファイルはコピー場所や引継ぎ方法にご注意ください

・ターゲット設定ファイル、ログファイル→ファイルの配置箇所に iMark インストールフォルダ、またはその配下以外をご指定されていた場合は、その箇所にコピーをお願いいたします

・nkmsg.ini→iMarkV5 のインストールフォルダ内にございます「nkmsg」フォルダの中にコピーをお願いいたします

・nkimark.noi→前述の通り、ファイルのコピーでは設定移行が行えない為「nkimark_v5.noi」の編集をお願いいたします

(7)iMark を「管理者として実行」より起動し、コピーしたターゲット設定を開く

(8)設定の引継ぎや動作が正常に行われた確認を行う

※旧 iMark でターゲット設定ファイルを旧 iMark インストールフォルダ、またはその配下に配置し使用していた場合、

(7)の iMark 起動時に監視設定が読み込まれる場合があります、

これは旧 iMark インストールフォルダのパスでターゲット設定ファイルが読み込まれており、この状態ですと監視設定の保存もこのパスで行われてしまいます。

その為、iMarkV5GUI よりメニューバー→開くを選択し、改めてコピーしたターゲット設定ファイルを開いてください。

設定の引継ぎが正常に行われていない場合は、上記のバックアップファイルを使用して、再度(5)からお試しください。

以上の手順で既存の環境を引き継ぎアップデートできます。

○iMarkV5 を新環境にインストールし、設定を移行する場合

(1)旧環境の監視をすべて停止し、上記ファイルのバックアップを取得

(2)新環境に iMarkV5 をインストール

(3)iMark を「管理者として実行」より起動しライセンスコードを入力する

(4)iMarkGUI を終了し、iMark サービス(nkimarkService_V5.exe)を終了させる

(iMark サービスの終了はタスクマネージャー→「サービス」タブ→「nkimarkService_V5」を右クリック→「停止」を選択してください)

(5)バックアップ対象ファイルを iMarkV5 インストールフォルダにコピー

※以下のバックアップ対象ファイルはコピー場所や引継ぎ方法にご注意ください

・ターゲット設定ファイル、ログファイル→ファイルの配置箇所に iMark インストールフォルダ以外をご指定されていた場合は、その箇所にコピーをお願いいたします

・nkmsg.ini→iMarkV5 のインストールフォルダ内にございます「nkmsg」フォルダの中にコピーをお願いいたします

・nkimark.noi→前述の通り、ファイルのコピーでは設定移行が行えない為「nkimark_v5.noi」の編集をお願いいたします

(6)iMark を「管理者として実行」より起動し、新環境にコピーしたターゲット設定を開く

(7)設定の引継ぎや動作が正常に行われた確認を行う

※旧環境でターゲット設定ファイルを iMark インストールフォルダ、またはその配下に配置していた場合、

(6)の iMark 起動時に「指定されたパスが見つかりません」という、設定ファイルが見つからなかった旨のエラーメッセージが出力される場合がございます。

上記エラーが出力されましたら「OK」ボタンを押下しダイアログを閉じて、コピーしたターゲット設定を開いてください。

設定の引継ぎが正常に行われていない場合は、上記のバックアップファイルを使用して、再度(4)からお試しく下さい。

以上の手順で旧環境の設定を引き継ぎできます。
